

作成日 2020年7月1日

# 製品安全データシート

## 1 製品及び会社情報

製品名	メラ冷温水槽用洗浄剤（次亜塩素酸系）HTP-2
会社	泉工医科工業株式会社 商品企画本部 循環器部
住所	〒113-0034 東京都文京区湯島2-30-7
電話番号	03（3812）3254

## 2 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分外
自然発火性液体	区分外
酸化性液体	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分4
急性毒性（経皮）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分1
目に対する重篤な損傷／目刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
標的臓器/全身毒性（単回暴露）	区分2
標的臓器/全身毒性（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水性環境性有害性	区分1
水性環境慢性有害性	区分1
オゾン層への有害性	分類できない

### GHSラベル表示

絵表示またはシンボル：



注意喚起語  
危険有害性情報



危険  
飲み込むと有害  
重篤な皮膚の薬傷  
重篤な眼の損傷  
臓器（消化器系）の傷害のおそれ  
水性生物に非常に強い毒性  
長期的影響により水性生物に非常に強い毒性

## 注意書き

### <安全対策>

環境への放出は避けること  
取り扱い後は良く手などを洗うこと

### <応急処置>

目に入った場合

直ちに清浄な流水で少なくとも15分間以上洗眼する。  
洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合

多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気のところへ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。  
呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合

直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水や石鹸を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

重曹30-50g/Lの水溶液で胃洗浄し吐き出させる。ついで250mlの水に硫酸マグネシウム30gと重曹10gを溶解した水溶液を服用させると良いが、速やかに医師の診断を受ける。

### <保管>

製品容器は、直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
重金属類（コバルト、ニッケル、銅など）が容器内に混入しないようにする。  
腐食性が強いこと、誤って酸性液などと混合すると塩素ガスの発生があるので十分注意する。

### <廃棄>

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、都道府県の許可を得た業者に委託すること。

## 3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分  
含有成分及び含有量

混合物（界面活性剤を含有する混合物）

(成分名)	(含有量w t %)	(CAS.NO)	(国内適用法令)
次亜塩素酸ナトリウム	2.5±0.5	7681-52-9	安衛法
両性界面活性剤	0.9±0.05	非公開	無し
ケイ酸ナトリウム	4.0±1.0	非公開	無し
苛性カリウム	1.5±0.5	1310-58-3	安衛法
精製水	バランス	7732-18-5	無し

## 4 応急処置

目に入った場合

直ちに清浄な流水で少なくとも15分間以上洗眼する。  
洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合	多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気のところへ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付いた場合	直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹸を使って洗い流す。
飲み込んだ場合	刺激が残る場合は医師の診断を受ける。 重曹30-50g/Lの水溶液で胃洗浄し吐き出させる。ついで250mlの水に硫酸マグネシウム30gと重曹10gを溶解した水溶液を服用させると良いが、速やかに医師の診断を受ける。

## 5 火災時の措置

消火方法	本品は不燃性であるが、周辺火災の場合は、速やかに充填容器を安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏洩した場所にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する 適切な保護具を着用する。（保護手袋、保護マスク、保護めがね保護前掛け等）
環境に対する注意事項	漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝などにそのまま流さないこと。
回収・中和	漏洩した液は、少量の場合おがくず、土砂、紙などを用いて吸収させ、空容器に回収する。

## 7 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意	換気の良い場所で使用し、容器は使用後密栓する。 ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つように努める。 発生させたミストは吸い込まないようにする。 取扱い時は、適切な保護具を着用する。 取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。 他の薬剤と混合させないこと。
保管上の注意	製品容器は、直射日光を避け、冷暗所に保管する。 重金属類（コバルト、ニッケル、銅など）が容器内に混入しないようにする。 腐食性が強いこと、また誤って酸性液などと混合すると塩素ガスの発生があるので十分注意する。

## 8 暴露防止措置及び保護処置

<組成物の有害性及び暴露濃度基準>

原料名	管理濃度	許容濃度 ACGIH	許容濃度 日本産業衛生学会	その他
次亜塩素酸 ナトリウム	未設定	未設定	未設定	情報なし

設備対策

局所排気設備など

保護具

眼の保護具 側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型を使用する。  
呼吸保護具 必要に応じて保護マスク(有機ガス用マスク)を使用する。  
皮膚の保護具 必要に応じてゴム手袋、保護前掛けを使用する

## 9 物理及び化学的性質

外観

微赤色透明液体

臭気

塩素臭

比重

1.0～1.1 原液(20℃)

pH

約13.0 強アルカリ性

溶解性

水に易溶

凍結点

-5℃～-4℃

引火点

なし

爆発限界

(下限)なし (上限)なし

可燃性

なし

発火性

なし

酸化性

なし

自己反応性・爆発性

なし

## 10 安定性及び反応性

安定性

通常の取り扱い条件においては化学的に安定だが。次亜塩素酸Naは中性以下では急激に分解反応を生じ、塩素ガスを生じる  
高温 紫外線

避けるべき条件

混融危険物質

コバルト、ニッケル、銅などの重金属及びその塩類が存在すると著しく分解を促進する。酸性物質

## 11 有害性情報

急性毒性(経口)

区分4

LD50 (ATEmix) 約600

急性毒性(経皮)

区分3

LD50 (ATEmix) 約600

皮膚腐食性/刺激性

区分1

次亜塩素酸Na KOH

目に対する重篤な損傷/目刺激性

区分1

次亜塩素酸Na KOH

呼吸器感作性

区分1

KOH

皮膚感作性

区分外

生殖細胞変異原性

区分外

発がん性

区分外

生殖毒性

区分外

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

区分1

次亜塩素酸Na、

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

分類できない

データ不足

吸引性呼吸器有害性

区分1

KOH

<参考>

次亜塩素酸Na

急性毒性

経口ラット LD50 5850mg/kg 運動活性変化

皮膚腐食性  
皮膚・眼刺激性

感作性  
変異原性  
催奇形性  
がん原性

生殖毒性  
その他

経口マウス LD50 12 mg/kg  
経口ヒト TDLo 1 mg/kg 昏睡に近い半意識状態  
腹腔マウス LD50 1450 mg/kg  
データなし  
強い刺激性あり。長時間皮膚に接触すると皮膚炎、湿疹を起こす。  
眼にはいると角膜が侵される  
ラビット 10 mg : Moderate (眼)  
あり  
染色体異常試験 : 陽性  
情報なし  
マウス及びラットの経皮投与試験では、発癌性は認められず。  
IARC ではグループ3に分類される  
マウス及びラットの経皮投与試験では、影響は認められず。  
ミストの吸入によって咳と窒息を生じ、気道刺激と胚水腫を起こす  
ヒトの漂白剤の誤摂取の事例において腐食性に起因する食道、胃への影響が報告されている。

## 1.2 環境影響情報

水性環境急性有害性  
水性環境慢性有害性  
オゾン層への有害性

区分1 次亜塩素酸Na  
区分1 次亜塩素酸Na 急性区分1  
分類できない データ不足

<参考>

### 次亜塩素酸Na

残留性/分解性  
生態蓄積性  
生態毒性  
魚毒性

水中で徐々に分解する。  
データなし

アメリカヤナギバエ TLm96 59.0 mg/L  
小エビ TLm96 52.0 mg/L  
甲殻類 (ネゼミジンコ) EC50 : 0.005 mg/L (塩素濃度、E-BAR2006)

## 1.3 廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。  
容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。  
排水処理により発生した廃棄物についても 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

## 1.4 輸送上の注意

国連分類  
国連番号  
国連包装等級  
陸上輸送  
海上輸送  
航空輸送  
注意事項

クラス8 (腐食性物質)  
1781  
III  
取扱い及び保管上の注意の項に従う。  
船舶安全法に定めるところに従う。  
航空法に定めるところに従う。  
運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

## 1 5 適用法令

消防法	非該当
労働安全衛生法	施工令別表 1 危険物（酸化性のもの）次亜塩素酸 Na（ $2.5 \pm 0.5\%$ ） 施行令別表 9 名称など通知対象物質 苛性カリウム（ $1.5 \pm 0.5\%$ ）
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

## 1 6 その他の情報

### 引用文献

GHS 対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト  
中央労働災害防止協会  
1 6 6 1 5 の化学商品 化学工業日報社 2 0 1 5 年版  
製品安全データシート 各原料メーカー  
GHS 分類対象物質一覧 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は安全を保証するものではありません。本品の適正な使用については使用者の責任において行ってください。